

早稲田大学 基幹/創造/先進理工学部 物理 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	120分(志望学部・学系・学科により、物理・化学・生物から2科目選択)
特徴・その他	難易度は昨年おりや難化。分量は昨年とほぼ同じ。

〔大問別講評〕

番号	出題内容・コメント	難易度
〔Ⅰ〕	熱力学の問題でやや難しい。状態変化を追えるかどうか勝負の別れめ。問われていなくとも pV グラフを書くとわかりやすい。	やや難
〔Ⅱ〕	力学の典型的な問題であるが、つり合い位置からの量などで戸惑うかもしれない。また、符号の無い不良の扱いで嫌気がさすかもしれない。計算がやや煩雑。	標準
〔Ⅲ〕	設定が変わりながら基本的な問いは既知として次から次へと設問の言葉が続くうえに計算量がやたらに多い。問9は単なる計算問題というよりも物理的な現象を理解できているかによるが、簡単ではない。	やや難